

議 会 運 営 委 員 会

令和7年12月17日（水）

全員協議会終了後

開議 時 分

閉議 時 分

第4委員会室

出席者

〔委 員〕岡本委員長、小川副委員長、

今田委員、村木委員、大谷委員、沖田委員、足立委員、柳楽委員、西田清久委員

〔議長団〕澁谷議長、笹田副議長

〔委員外議員〕遠藤議員、森谷議員

〔執行部〕山根総務部長、末岡総務課長、~~森山総務管理係長~~

〔事務局〕下間局長、濱見次長、久保田書記

議 題

1 令和8年3月浜田市議会定例会議の会議予定について

別紙1

2 浜田市議会基本条例の見直しについて

別紙2

3 その他

令和8年3月定例会議日程(案)

			期間	日程案	会場	開始時間等
1月	23日	金		総務委員会	全員協議会室	10時～
	24日	土				
	25日	日				
	26日	月		文教厚生委員会	全員協議会室	10時～
	27日	火		産業建設委員会	全員協議会室	10時～
	28日	水				
	29日	木				
	30日	金				
	31日	土				
2月	1日	日				
	2日	月				
	3日	火				
	4日	水				
	5日	木				
	6日	金		全員協議会	全員協議会室	10時～
	7日	土				
	8日	日				
	9日	月				
	10日	火		請願・陳情・意見書・決議書締切		【締切】 13時
	11日	水				
	12日	木		一般質問通告書メール、FAX受付締切		【締切】 11時
	13日	金		一般質問通告締切		【締切】 11時
	14日	土				
	15日	日				
	16日	月				
	17日	火		議会運営委員会 議会広報広聴委員会	全員協議会室 第4委員会室	10時～ 13時30分～
	18日	水		一般質問説明用補助資料提出締切		【締切】 12時
	19日	木				
	20日	金				
	21日	土				
	22日	日				
	23日	月				
	24日	火	1	開会 提案説明 全員協議会 総務委員会 文教厚生委員会 産業建設委員会	議場 全員協議会室 第1委員会室 第2委員会室 第3委員会室	10時～ 本会議終了後 全員協議会終了後 全員協議会終了後 全員協議会終了後
	25日	水	2	一般質問	議場	10時～
	26日	木	3	一般質問	議場	10時～
	27日	金	4	一般質問	議場	10時～
	28日	土	5			
3月	1日	日	6			
	2日	月	7	一般質問	議場	10時～
	3日	火	8	議案質疑	議場	10時～
	4日	水	9	総務委員会	全員協議会室	10時～
	5日	木	10	文教厚生委員会	全員協議会室	10時～
	6日	金	11	産業建設委員会	全員協議会室	10時～
	7日	土	12			
	8日	日	13			
	9日	月	14	休会		
	10日	火	15	予算決算委員会	全員協議会室	10時～
	11日	水	16	予算決算委員会	全員協議会室	10時～
	12日	木	17	予算決算委員会	全員協議会室	10時～
	13日	金	18	予算決算委員会（予備） 討論通告期限	全員協議会室	10時～ 【締切】 17時
	14日	土	19			
	15日	日	20			
	16日	月	21	休会 対抗討論通告期限		 【締切】 13時
	17日	火	22	採決 全員協議会 議会運営委員会	議場 全員協議会室 第4委員会室	10時～ 本会議終了後 全員協議会終了後

議会基本条例の見直しについて

資料2

無記入欄は、
全会派**達成されて**
いるを選択

無記入欄は、
全会派**無**を選択

制定時			現在		改正時期	目的が達成されて いるかどうか	今後改正の 必要性の有無	改正内容・意見等
条項	見出し	条文	見出し	条文				
目次		前文 第1章 総則(第1条・第2条) 第2章 議会の活動原則(第3条―第16条) 第3章 議員の活動原則(第17条―第20条) 第4章 市民参加(第21条―第23条) 第5章 議員定数及び議員報酬(第24条) 第6章 補則(第25条) 附則		前文 第1章 総則(第1条・第2条) 第2章 議会の活動原則(第3条―第16条) 第3章 議員の活動原則(第17条―第20条) 第4章 市民参加(第21条―第23条) 第5章 議員定数及び議員報酬(第24条) 第6章 補則(第25条) 附則	H27. 3. 20 H30. 12. 16	【公明】―		
前文		地方分権の時代を迎え、地域の自主性と自立性が必要とされる現在にあって、二元代表制の一翼を担う議会には、従来の議事機関としての役割と責務のみならず、多様化する市民の意見を的確に把握し、市政に反映させるため、自由討議や意見交換等を重視した政策形成機能の更なる充実が求められている。 私たち浜田市議会議員は、石見人としての誇りと高い識見を備え、全国の地方議会の模範となる議会改革を掲げて絶えず精進し、全ての市民が安全で安心して、幸せに暮らすことができるよう最大限の努力をしなければならない。 ここに、浜田市議会は、日本国憲法に定める地方自治の本旨にのっとり、市民に開かれた信頼される地方政府を実現するため、議会の最高規範として、この条例を制定する。		地域の自主性と自立性が必要とされる現在にあって、二元代表制の一翼を担う議会には、従来の議事機関としての役割と責務のみならず、多様化する市民の意見を的確に把握し、市政に反映させるため、自由討議や意見交換等を重視した政策形成機能の更なる充実が求められている。 私たち浜田市議会議員は、石見人としての誇りと高い識見を備え、全国の地方議会の模範となる議会改革を掲げて絶えず精進し、全ての市民が安全で安心して、幸せに暮らすことができるよう最大限の努力をしなければならない。 ここに、浜田市議会は、日本国憲法に定める地方自治の本旨にのっとり、市民に開かれた信頼される地方政府を実現するため、議会の最高規範として、この条例を制定する。	R4. 9. 30	【参政】 達成されていない		
第1章	総則		総則					
第1条	目的	第1条 この条例は、二元代表制の下、議会の果たすべき役割を明らかにするとともに、議会及び議員の活動原則等議会に関する基本的な事項を定めることにより、地方自治の本旨に基づく市民の負託に応え、市民の福祉の増進及び公正で民主的な市政の発展に寄与することを目的とする。	目的	第1条 この条例は、二元代表制の下、議会の果たすべき役割を明らかにするとともに、議会及び議員の活動原則等議会に関する基本的な事項を定めることにより、地方自治の本旨に基づく市民の負託に応え、市民の福祉の増進及び公正で民主的な市政の発展に寄与することを目的とする。		【公明】―		
第2条	条例の位置付け	第2条 この条例は、議会における最高規範であって、議会は、議会に関する他の条例、規則その他の規程の制定、改廃及び運用については、この条例の趣旨に沿って行わなければならない。	条例の位置付け	第2条 この条例は、議会における最高規範であって、議会は、議会に関する他の条例、規則その他の規程の制定、改廃及び運用については、この条例の趣旨に沿って行わなければならない。		【公明】―		

制定時			現在		改正時期	目的が達成されているかどうか	今後改正の 必要性の有無	改正内容・意見等
条項	見出し	条文	見出し	条文				
第2章	議会の活動原則		議会の活動原則					
第3条	議会の活動原則	第3条 議会は、市民の負託を受けた議決機関であることを自覚し、公正性、透明性及び信頼性を確保し、市民に開かれた議会及び市民参加を推進する議会を目指して活動しなければならない。	議会の活動原則	第3条 議会は、市民の負託を受けた議決機関であることを自覚し、公正性、透明性及び信頼性を確保し、市民に開かれた議会及び市民参加を推進する議会を目指して活動しなければならない。				
		2 議会は、市民を代表する議決機関として、適切な判断及び責任ある活動を行わなければならない。		2 議会は、議会としての共通認識の醸成及び合意形成を図り、市長その他の執行機関（以下「市長等」という。）に対する監視機能を果たすとともに、政策の実現に向け、市民の福祉の増進を目指して、適切な判断及び責任ある活動を行わなければならない。	R4. 9. 30			
		3 議会は、議員、市長及び市民の交流並びに自由な討論の場であるとの認識を持って活動しなければならない。		3 議会は、議員、市長等及び市民の交流並びに自由な討論の場であるとの認識を持って活動しなければならない。	R4. 9. 30			
		4 議会は、市民の参加意識が高まるよう分かりやすい視点、方法等で活動しなければならない。		4 議会は、市民の参加意識が高まるよう分かりやすい視点、方法等で活動しなければならない。		【参政】 まあまあ達成	【参政】有	【参政】 参加意識そのものがあるようには思えない、
				5 議会は、障がいのある議員及び妊娠中の議員に対し、本人の意思を尊重し、円滑な議会活動のための配慮を行わなければならない。	H30. 9. 28	【参政】 まあまあ達成		
				6 議会は、議員が議会活動と育児、介護等との両立ができるよう配慮を行わなければならない。	R3. 3. 19	【参政】 まあまあ達成		
				7 議会は、ジェンダー平等の理念にのっとり、多様な議員が議会活動を行うことができるよう配慮を行わなければならない。	R4. 9. 30	【創政】 まあまあ達成 【参政】 達成されている		
第4条	議会改革の推進	第4条 議会は、社会状況の変化に適応した議会の在り方について常に議論し、議会改革の推進に努めるものとする。	議会改革の推進	第4条 議会は、社会状況の変化に適応した議会の在り方について常に議論し、議会改革の推進に努めるものとする。		【参政】 達成されていない	【参政】有	【参政】 物価の上昇率に合わせて議員報酬も変動すべきだと考えます。
第5条	危機管理	第5条 議会は、大規模災害等の緊急の事態から市民の生命、身体及び財産並びに生活の平穏を守るため、総合的かつ機能的な活動が図られるよう、市長その他の執行機関及びその職員（以下「市長等」という。）と協力し、危機管理体制の整備に努めるものとする。	危機管理	第5条 議会は、大規模災害等の緊急の事態から市民の生命、身体及び財産並びに生活の平穏を守るため、総合的かつ機能的な活動が図られるよう、市長等と協力し、危機管理体制の整備に努めるものとする。	R4. 9. 30			
		2 議会は、大規模災害等の緊急の事態が発生したときは、市長等と連携し、次に掲げるとおり対応するものとする。		2 議会は、大規模災害等の緊急の事態が発生したときは、市長等と連携し、次に掲げるとおり対応するものとする。				
		(1) 議長は、必要に応じて議員による協議又は調整を行うための組織を設置する。		(1) 議長は、必要に応じて議員による協議又は調整を行うための組織を設置する。				
		(2) 議会は、状況を調査し、市民の意見及び要望を的確に把握するとともに、必要に応じて市長等に対し、提言及び提案を行う。		(2) 議会は、状況を調査し、市民の意見及び要望を的確に把握するとともに、必要に応じて市長等に対し、提言及び提案を行う。		【公明】 まあまあ達成	【公明】有	【公明】 (2) 議会は、 可能な限り 状況を調査し、市民の意見及び要望を的確に把握するとともに、必要に応じて市長等に対し、提言及び提案を行う。

制定時			現在		改正時期	目的が達成されているかどうか	今後改正の必要性の有無	改正内容・意見等
条項	見出し	条文	見出し	条文				
第6条	会派	第6条 議員は、議会活動を行うに当たり、会派を結成することができる。	会派	第6条 議員は、議会活動を行うに当たり、会派を結成することができる。				
		2 会派は、政策を中心とした理念を共有する議員で構成し、活動するものとする。		2 会派は、政策を中心とした理念を共有する議員で構成し、活動するものとする。		【参政】 まあまあ達成		
		3 会派は、政策立案、政策提言、政策決定等(以下「政策立案等」という。)に際して、会派間で調整を行い、合意形成に努めるものとする。		3 会派は、政策立案、政策提言、政策決定等(以下「政策立案等」という。)に際して、会派間で調整を行い、合意形成に努めるものとする。				
		4 議会運営に当たっては、議会は、会派に属さない議員の意見が反映されるよう配慮するものとする。		4 議会運営に当たっては、議会は、会派に属さない議員の意見が反映されるよう配慮するものとする。				
第7条	議員と市長等との関係	第7条 議会審議における議員と市長等との関係は、次に掲げるところにより、緊張関係が保たれていなければならない。	議員と市長等との関係	第7条 議会審議における議員と市長等との関係は、次に掲げるところにより、緊張関係が保たれていなければならない。				
		(1) 一般質問(会派代表質問を除く。)は、市政上の論点及び争点を明確にするため、一問一答の方式で行うものとする。		(1) 一般質問は、市政上の論点及び争点を明確にするため、一問一答の方式で行うものとする。	R4. 9. 30			
		(2) 議長の要請により本会議(浜田市議会会議規則(平成17年浜田市議会規則第1号)に規定する会議をいう。以下同じ。)及び委員会(浜田市議会委員会条例(平成17年浜田市条例第306号)に規定する常任委員会、議会運営委員会及び特別委員会をいう。以下同じ。以下これを「本会議等」という。)に出席した市長等は、議員からの質問に疑義等があるときは、議長又は委員長の許可を得て、これに反問することができる。		(2) 議長の要請により本会議(浜田市議会会議規則(平成17年浜田市議会規則第1号)に規定する会議をいう。以下同じ。)及び委員会(浜田市議会委員会条例(平成17年浜田市条例第306号)に規定する常任委員会、議会運営委員会及び特別委員会をいう。以下同じ。以下これを「本会議等」という。)に出席した市長等は、議員からの質問等又は議員若しくは委員会による条例の提案、議案の修正案等に対して疑義等があるときは、議長又は委員長の許可を得て、これらに反問し、又は反論することができる。	H30. 9. 28			
第8条	議会審議における論点整理	第8条 議会は、市長が提案する重要な政策について、議会審議における論点を整理し、その審議を深めるため、市長に対して次に掲げる事項について明らかにするよう求めるものとする。	議会審議における論点整理	第8条 議会は、市長が提案する重要な政策について、議会審議における論点を整理し、その審議を深めるため、市長に対して次に掲げる事項について明らかにするよう求めるものとする。		【浜風・創政】 まあまあ達成		
		(1) 政策の発生源		(1) 政策の発生源		【浜風・創政】 まあまあ達成		
		(2) 提案に至るまでの経緯		(2) 提案に至るまでの経緯		【創政】 まあまあ達成		
		(3) 他の地方公共団体の類似する政策との比較検討		(3) 他の地方公共団体の類似する政策との比較検討		【創政】 まあまあ達成		
		(4) 市民参加の実施の有無とその内容		(4) 市民参加の実施の有無とその内容		【浜風】 達成されていない 【創政】 まあまあ達成		
		(5) 総合振興計画との整合性		(5) 総合振興計画との整合性		【浜風】 まあまあ達成		
		(6) 財源措置		(6) 財源措置		【浜風】 まあまあ達成		
		(7) 将来にわたるコスト計算		(7) 将来にわたるコスト計算		【浜風・創政】 まあまあ達成		

制定時			現在		改正時期	目的が達成されているかどうか	今後改正の 必要性の有無	改正内容・意見等
条項	見出し	条文	見出し	条文				
第9条	予算及び決算における説明	第9条 議会は、予算及び決算の審議に当たっては、前条の規定に準じて、分かりやすい施策別又は事業別の説明を市長に対して求めるものとする。	予算及び決算における説明	第9条 議会は、予算及び決算の審議に当たっては、前条の規定に準じて、分かりやすい施策別又は事業別の説明を市長に対して求めるものとする。	H27. 3. 20	【浜風・参政】 まあまあ達成 【公明】 達成されていない	【公明】 有	【浜風】 フォローアップの制度化を、議運または特別委員会において協議する。 (例) ・請願、陳情進捗管理表の作成 ・議会HPに「対応中、一部実施、完了、対応不可」を表示 等 【公明】 第10条 議会は、採択した請願及び陳情が市長等において措置することが適当と認めるとき (各委員会で判断) は、市長等に対してその趣旨を実現するよう求めるとともに 検証を行い 、当該請願及び陳情に関する事後の状況、対応等を議会に報告するよう求めるものとする。
				第10条 議会は、採択した請願及び陳情が市長等において措置することが適当と認めるときは、市長等に対してその趣旨を実現するよう求めるとともに、当該請願及び陳情に関する事後の状況、対応等を議会に報告するよう求めるものとする。				
第10条	自由討議による合意形成等	第10条 議長は、議会は議員による自由な討論の場であることを認識し、市長等に対する本会議等への出席要請を必要最小限にとどめ、議員相互間の討議を中心とする運営に努めるものとする。	自由討議による合意形成等	第11条 議長は、議会は議員による自由な討論の場であることを認識し、市長等に対する本会議等への出席要請を必要最小限にとどめ、議員相互間の討議を中心とする運営に努めるものとする。		【浜風・市民】 達成されていない 【公明】 まあまあ達成		【浜風】 自由討議が行える「時間」や「役割」を議運または特別委員会において協議する。 (例) ・毎年10月に開催 →6月：テーマ公募（各常任委員会から1件） 7月：議運で1テーマに集約 9月：論点整理（正副委員長＋事務局） 【公明】 議員間討議の場面は少なく、実施方法の検討が必要と考える。
		2 議会は、本会議等において、議案、請願及び陳情(以下「議案等」という。)を審議し、結論を出す場合においては、議員相互間の討議により議論を尽くして合意形成に努めるとともに、市民に対する説明責任を果たすものとする。		2 議会は、本会議等において、議案、請願及び陳情(以下「議案等」という。)を審議し、結論を出す場合においては、議員相互間の討議により議論を尽くして合意形成に努めるとともに、市民に対する説明責任を果たすものとする。				
第11条	政策討論会	第11条 議会は、市政に関する重要な政策及び課題に対して、議会としての共通認識の醸成を図り、合意形成を得るため、政策討論会を開催するものとする。	政策討論会	第12条 議会は、市政に関する重要な政策及び課題に対して、議会としての共通認識の醸成を図り、合意形成を得るため、政策討論会を開催するものとする。		【浜風・市民・公明】 達成されていない		
第12条	委員会の活動	第12条 委員会は、議案等の審査に当たっては、市民に対して積極的に情報を公開し、分かりやすい議論を行うよう努めるものとする。	委員会の活動	第13条 委員会は、当該委員会が所管する事務（以下「所管事務」という。）の調査を充実させること等により、委員会活動の活性化を図り、政策立案等を積極的に行うよう努めるものとする。	R4. 9. 30			
		2 委員会は、行政視察を行ったときは、その目的、成果及び費用を公表するとともに、提言及び提案につなげるよう努めるものとする。		2 委員会は、議案等の審査に当たっては、市民に対して積極的に情報を公開し、分かりやすい議論を行うよう努めるものとする。	R4. 9. 30	【浜風】 まあまあ達成		
				3 常任委員会を代表する議員は、本会議において、所管事務について、議長の許可を得て質問することができる。	R4. 9. 30			
				4 委員会は、行政視察を行ったときは、その目的、成果及び費用を公表するとともに、政策立案等につなげるよう努めるものとする。	R4. 9. 30			
第13条	調査会の活用	第13条 議会は、調査会(浜田市議会会議規則第100条第1項の協議等の場をいう。)を自主的に開催し、その所管する事項に関し積極的に協議又は調整を行うものとする。		(削除)	H27. 3. 20			

制定時			現在		改正時期	目的が達成されているかどうか	今後改正の必要性の有無	改正内容・意見等
条項	見出し	条文	見出し	条文				
第14条	議会広報の充実	第14条 議会は、議会及び市政について市民に関心を持たれるよう広報紙のほか、ケーブルテレビ等情報技術の進展を踏まえた多様な広報手段を活用し、議会広報の充実に努めるものとする。	議会広報の充実	第14条 議会は、議会及び市政について市民に関心を持たれるよう広報紙のほか、ケーブルテレビ、インターネット等情報技術の進展を踏まえた多様な広報手段を活用し、広報機能の充実に努めるものとする。	R4. 9. 30	【創政】 まあまあ達成		
				2 議会は、市民の多様な意見を把握するとともに、市政に反映させるよう、時代及び環境の変化に対応し、広聴機能の充実に努めるものとする。	R4. 9. 30	【浜風】 まあまあ達成		
			専門的知見の活用	第14条の2 議会は、島根県立大学等との連携をはじめ、広く専門的知見の有効活用に努めるものとする。	R4. 9. 30	【浜風・市民】 達成されていない 【参政】 まあまあ達成		【浜風】 随時対応できるよう専門家依頼の謝金（予算化）や招へい手続きを議運または特別委員会において定める。 （例） ・謝金の予算化 ・依頼ルートの一本化 ・専門家の登録制度（法律、福祉、省エネ、都市計画、防災 等）
第15条	議会図書室	第15条 議会は、議員の調査研究及び市政運営の参考に資するため、議会図書室の図書に努めるものとする。	議会図書室	第15条 議会は、議員の調査研究及び市政運営の参考に資するため、議会図書室の充実に努めるものとする。	R4. 9. 30	【浜風】 まあまあ達成		【浜風】 静的資料の保管から「政策エンジン」となるよう図書室の利用（タブレット及び自治法）を議運または特別委員会において協議する。 （イメージ） ・図書室を「調べる場所」から「政策をつくる装置（道具）」へ（機能） ・論点整理、他自治体比較、課題構造までまとめて提供 ・一般質問、委員会質疑、政策提案に“そのまま使える資料”をタブレット配信 ・視察、研修レポートの共有
第16条	議会事務局の体制整備	第16条 議会は、議員の政策立案等を補助する組織として、議会事務局の調査機能及び法務機能の充実強化等その体制の整備に努めるものとする。	議会事務局の体制整備	第16条 議会は、議員の政策立案等を補助する組織として、議会事務局の調査機能及び法務機能の充実強化等その体制の整備に努めるものとする。				
				2 議長は、議会事務局の職員の配置に関し、あらかじめ市長と協議するものとする。	H30. 9. 28	【公明】—		【公明】 市長との協議内容が分からない。

制定時			現在		改正時期	目的が達成されているかどうか	今後改正の必要性の有無	改正内容・意見等
条項	見出し	条文	見出し	条文				
第3章	議員の活動原則		議員の活動原則					
第17条	議員の活動原則	第17条 議員は、議会の構成員として、一部の団体及び地域の代表にとどまらず、市民全体の福祉の増進を目指して活動しなければならない。	議員の活動原則	第17条 議員は、議会の構成員として、一部の団体及び地域の代表にとどまらず、市民全体の福祉の増進を目指して活動しなければならない。				
		2 議員は、市政の課題全般について、市民の意見を的確に把握するとともに、自己の能力を高める不断の研さんにより、市民の代表としてふさわしい活動をしなければならない。		2 議員は、市政の課題全般について、市民の意見を的確に把握するとともに、自己の能力を高める不断の研さんにより、市民の代表としてふさわしい活動をしなければならない。				
		3 議員は、議会が言論の府であること及び合議制の機関であることを認識し、議員相互間の自由な討議を重んじて活動しなければならない。		3 議員は、議会が言論の府であること及び合議制の機関であることを認識し、議員相互間の自由な討議を重んじて活動しなければならない。		【創政・公明・参政】 まあまあ達成		【公明】 議員間討議が思うように進んでいない。
		4 議員は、政策討論会等を通じて議員相互間における自由な討議を行い、積極的な議案の提出に努めなければならない。		4 議員は、政策討論会等を通じて議員相互間における自由な討議を行い、積極的な議案の提出に努めなければならない。		【浜風】 達成されていない 【公明】 まあまあ達成		
第18条	政務調査	第18条 議員は、積極的に政策立案等のための調査研究に努めるものとする。この場合において、政務調査費の交付を受けたときは、これを有効に活用するものとする。	政務活動	第18条 議員は、積極的に政策立案等のための調査研究その他の活動に努めるものとする。この場合において、政務活動費の交付を受けたときは、これを有効に活用するものとする。	H24. 12. 21	【市民】 達成されていない		【市民】 市内行動交通費の計上が個々の議員で出していない。
		2 政務調査費の交付を受けた議員は、政務調査費を使用した活動の状況を公表するとともに、市民に対し、公正性及び透明性の確保の観点からその使途について説明責任を果たすものとする。		2 政務活動費の交付を受けた議員は、政務活動費を使用した活動の状況を公表するとともに、市民に対し、公正性及び透明性の確保の観点からその使途について説明責任を果たすものとする。	H24. 12. 21			
		3 政務調査費の交付を受けた議員は、その執行状況に疑義が生じることがないよう全ての領収書等証拠書類を明らかにするものとする。		3 政務活動費の交付を受けた議員は、その執行状況に疑義が生じることがないよう全ての領収書等証拠書類を明らかにするものとする。	H24. 12. 21			
				4 議長は、政務活動費が適正に使用されているかどうかについて、議会関係者以外の者の審査を受けるものとする。	H27. 3. 20			
第19条	議員研修	第19条 議会は、議員の政策立案等の能力の向上を図るため、議員の研修体制の充実強化に努めるものとする。	議員研修	第19条 議会は、議員の政策立案等の能力の向上を図るため、議員の研修体制の充実強化に努めるものとする。		【創政】 まあまあ達成		
		2 議会は、各分野における学識経験を有する者及び市民との議員研修会を積極的に開催するものとする。		2 議会は、各分野における学識経験を有する者及び市民との議員研修会を積極的に開催するものとする。				
		3 議会は、島根県立大学との意見交換会の開催等知的財産の有効活用にも努めるものとする。		(削除)	R4. 9. 30			
第20条	政治倫理	第20条 議員は、市民の信頼に値する倫理的義務が課せられていることを自覚し、浜田市議会議員政治倫理条例(平成20年浜田市条例第25号)を遵守するものとする。	政治倫理	第20条 議員は、市民の信頼に値する倫理的義務が課せられていることを自覚し、浜田市議会議員政治倫理条例(平成20年浜田市条例第25号)を遵守するものとする。				

制定時			現在		改正時期	目的が達成されているかどうか	今後改正の必要性の有無	改正内容・意見等
条項	見出し	条文	見出し	条文				
第4章	市民参加		市民参加					
第21条	市民と議会との関係	第21条 議会は、市民に対し、積極的に情報を公開し、説明責任を果たすものとする。 2 議会は、本会議等その他の会議を原則として公開するものとする。 3 議会は、委員会における公聴会制度及び参考人制度を活用することにより、市民の多様な意見及び専門的又は政策的な識見等を議会の審議に反映させるよう努めるものとする。	市民と議会との関係	第21条 議会は、市民に対し、積極的に情報を公開し、説明責任を果たすものとする。 2 議会は、本会議等その他の会議を原則として公開するものとし、あらかじめその日程、議題等を周知するとともに、障がいの有無にかかわらず市民が傍聴しやすい環境の整備、インターネット等による配信に努めるものとする。 3 議会は、議案等に対する各議員の賛否等を広報紙で公表する等、市民に対して議員の意思を明確にするものとする。 4 議会は、本会議又は委員会における公聴会制度及び参考人制度を活用することにより、市民の多様な意見及び専門的又は政策的な識見等を議会の審議に反映させるよう努めるものとする。	H30. 9. 28 H24. 12. 21 R4. 9. 30 H24. 12. 21	【公明】 まあまあ達成 【浜風・公明】 まあまあ達成	【公明】 障がいの有無にかかわらず市民が傍聴しやすい環境は整っていない。 【公明】 十分な活用とは言えない。	
第22条	重要案件の意見交換会	第22条 議会は、市政に関する重要な案件について、議員及び市民が自由に情報及び意見の交換を行うため、議会運営委員会で協議の上、重要案件の意見交換会を開催するものとする。 2 議会は、市政に関する重要な案件について、市民から重要案件の意見交換会の開催を求められたときは、議会運営委員会で協議の上、これを開催することができる。	重要案件の意見交換会	第22条 議会は、市政に関する重要な案件について、議員及び市民が自由に情報及び意見の交換を行うため、議会運営委員会で協議の上、重要案件の意見交換会を開催するものとする。 2 議会は、市政に関する重要な案件について、市民から重要案件の意見交換会の開催を求められたときは、議会運営委員会で協議の上、これを開催することができる。	 			